

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 111 号	氏名	志田 洋平
学位審査委員	主査 近藤 宇史 副査 下川 功 副査 永安 武		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は、進行前立腺癌の治療上大きな問題点であるホルモン治療抵抗性について、アンドロゲン非依存性増殖機構によって予後不良になるという観点からその機構を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>アンドロゲン非依存性前立腺癌細胞 2 株を用いて、種々のストレスによって活性化される MAPK 系の ERK, p38MAPK, JNK に対する特異阻害剤を投与して、細胞増殖、各キナーゼの活性や発現量、更に IL-6 分泌に及ぼす効果を測定して、アンドロゲン非依存性増殖の機序を解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、ERK, p38MAPK, JNK それぞれの阻害剤によって前立腺癌細胞の増殖抑制が認められたことから、アンドロゲン非依存性増殖にこれらのシグナル系が関与していることが推測された。特に IL-6 の分泌が p38MAPK を介した経路で調節されている結果が認められた。</p> <p>これらの結果より、前立腺癌がホルモン治療のみならず、放射線療法や化学療法にも抵抗を示す仕組みに、IL-6 分泌に働くシグナルが IL-6 による増殖を促進させているという機構が存在することが示された。これらの解析結果は前立腺癌の治療に抵抗する新しい機序を示したもので、泌尿器学研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は泌尿器病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			